

## 神尾 真由子(ヴァイオリン) Mayuko Kamio, violin

4歳よりヴァイオリンをはじめ。2007年に第13回チャイコフスキー国際コンクールで優勝し、世界中の注目を浴びた。これまでに、国内の主要オーケストラはもとより、チューリッヒ・トーンハレ管、BBC響、BBCフィル、ブダペスト祝祭管、バイエルン州立歌劇場管、ベルリン・ドイツ響、ラハティ響などと共演。指揮者では、C.デュトワ、M.ロストロポーヴィチ、E.インバル、V.スピヴァコフ、V.アシュケナージ、J.ピエロフラーヴェク、I.フィッシャー、T.ソヒエフ、O.カムなどと共演している。近年では、Z.メータ指揮/ミュンヘン・フィルと南米ツアー、F.X.ロト指揮/南西ドイツ放送と日本ツアー、L.モルロー指揮/イスラエル・フィルとイスラエルツアーを行った。サン・モリッツ、コルマール、ヴェルビエなどの著名フェスティバルにも出演。また、ニューヨーク、ワシントン、サンクトペテルブルク、モスクワ、フランクフルト、ミラノなど世界各地でリサイタルを行っている。レコーディングではRCA Red Sealレーベルより最新CD「VIOLIN ENCORES」を含む5枚をリリース。使用楽器はストラディヴァリウス1731年製「ルビノフ」を宗次コレクションより貸与されている。



©Shion Isaka



## 平野 加奈(ピアノ) Kana Hirano, piano

石川県金沢市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科を経て、同大学院音楽研究科修士課程を修了。ミュンヘン音楽・演劇大学大学院にてMichael Schäfer氏のクラスで学び、ソリスト課程Zertifikatstudium Meisterklasseを修了。修了時にドイツ国家演奏家資格を取得。これまでに日本国内多数のコンクールに入賞の他、ピアノ協奏曲のソリストとしてオーケストラ・アンサンブル金沢とも多数共演。現在金沢を中心にソロリサイタルや室内楽など幅広く精力的に演奏活動を行っている。

## オレグ・ズヴェーフ (音楽監督・首席指揮者) Oleg Zverev, Music Director & ConductorPrincipal

2012-2013シーズンより、ロシア国立ウリヤノフスク交響楽団の音楽監督兼首席指揮者を務めている。現代の偉大かつ国際的に名高いロシアの指揮者たち同様、彼も権威あるサンクトペテルブルク音楽院出身である。バルナウルにあるアルタイ国立交響楽団と首席指揮者を務めた後、1990年から2009年までイルクーツク・フィルハーモニー管弦楽団で音楽監督兼首席指揮者を務めた。また同管弦楽団とは「音楽文化国際交流'99in石川」で97年に現地で、99年には金沢で石川県代表のオーケストラ・合唱団と共演している。



## ロシア国立ウリヤノフスク交響楽団 Ulyanovsk State Academic Symphony Orchestra

1968年に設立のロシア国立ウリヤノフスク交響楽団は、ロシアでもっとも有名なオーケストラの一つとして、その地位を確立している。ヴォルガ川のほとりに位置するこの大都市(モスクワから東に約600km)を訪れた客演者には、ヴァレリー・ゲルギエフ、マリス・ヤンソンス、ユーリ・テミルカーノフ、ウラディーミル・フェドセーエフなどのロシアの最高の指揮者たち、および、ソリストとして度々共演してきたムスティスラフ・ロストロポーヴィチらがいる。さらにエフゲニー・キーシン、デニス・マツォーフ、ナターリヤ・グートマン、セルゲイ・ナカリャコフ、デミトリー・ホロストフスキーなど、数多くのアーティストたちが共演し、この一流のオーケストラの高い芸術性を評価している。



102人の楽員たちが、レーニンおよびゴンチャロフの故郷であるウリヤノフスクで年間60回以上のコンサートを行っている。彼らは海外でもツアーを行っている(中国、ドイツ、フランス、スペイン、スイス、北欧諸国など)ほか、モスクワ、サンクトペテルブルク等、多くのロシア連邦の都市の音楽祭でコンサートを行い、各地で称賛を得ている。

ロシア国立ウリヤノフスク交響楽団は、「アカデミック・オーケストラ」および「政府所属のオーケストラ」という名誉称号を授与されている。

エドワード・セーロフ、ニコライ・アレクセイエフ、セルゲイ・フェルリヨフの後、ロシア連邦の名誉ある音楽家オレグ・ズヴェーフが2012年9月以来、同オーケストラの音楽監督兼首席指揮者を務めている。